

IAUD特別ワークショップ°
2011年 実施計画

IAUD Special Workshop 2011 Action Plan

48時間デザインマラソン in かなざわ

**The 48 Hour Marathon for Universal Design in Kanazawa
2011. Sep. 29th ~ Oct. 2nd**



国際ユニヴァーサルデザイン協議会
International Association for Universal Design

●目次

- 開催主旨
- 企画概要
- ワークショップテーマ
- 運営体制
- チーム編成
- スケジュール
- 参加者募集要項
- 会場周辺地図およびアクセス

●開催趣旨

■IAUD事業における特別ワークショップの位置づけ;

国際UD宣言2002年であられた『一人一人の人間性を尊重し、使い手中心の考え方を重視したものづくりや、社会環境作りを目的とした研究』を、推進するためのワークショップとして位置づけています。またこの活動は、ユーザー対話型ワークショップ『48時間デザインマラソン』として2004年から継続的に取り組んでおり、IAUDの代表的な活動の一つとなっています。

■ワークショップの目的;

主要な目的を以下の内容としています。

- ・UDの普及啓発
- ・将来のUDを担うリーダーやデザイナーの人材育成
- ・新たなデザイン開発手法を探求する学びの場

そして下記5項目を骨子に創造的なワークショップ開催を目指します。

1. デザイナー、エンジニア、マーケッタ、研究者などの参加者が、ユーザーの生活の場の様々な事象を自ら体験することにより、リアリティーに基づく気づきを得て創造力豊かなユニヴァーサルデザインのアイデアを獲得すること。
2. 誰にでも優しく安心して社会参加できる生活環境の創出を、衣食住、製品、労働、移動、余暇レジャー、情報メディアなど多様な視点から追求し、生活者や地域社会に寄与する解決方法を、具体的なデザインを通じて行なうこと。
3. プレゼンテーションを公開審査の場とし、ユニヴァーサルデザインの取り組み活動に対する社会的価値と役割を、多くの方に理解してもらうこと。
4. 短時間内で、調査・企画・発想・プレゼンテーションまで行う集中力を養い、ITを駆使してデザイン具現化力の向上を目指すこと。
5. 現役の学生が、業界を超えて集まったプロデザイナーとユーザーの協業に参加する産学協働の場をつくることで、将来のユニヴァーサルデザインを担う人材育成の場とすること。

●企画概要

- 名 称 : 特別ワークショップ:48時間デザインマラソン
(Special Workshop: The 48 Hour Marathon for Universal Design)
- 開催日程: 2011年9月29日(木)～10月2日(日)
- 開催場所: 金沢美術工芸大学
〒920-8656 石川県金沢市小立野5-11-1
TEL : 076-262-3531 FAX : 076-262-6594
<http://www.kanazawa-bidai.ac.jp/index.html>
E-mail : admin@kanazawa-bidai.ac.jp
- 運 営 : 国際ユニヴァーサルデザイン協議会(IAUD)
- 協 力 : 金沢美術工芸大学
- 後 援 : 金沢市 / 金沢商工会議所
- 活動概要: IAUD会員および石川県民から募集された参加者は、事前に決められたチームリーダーのもと、5つのチームに編成されます。各チームは与えられたワークショップのテーマに基づき、48時間という限られた時間内にUDの競争設計を行います。

48時間の前半は主に、障がいをもつユーザーと共に金沢市内の生活現場へ出かけ、様々な問題点を抽出することに費やされます。後半は主に、デザインの具現化とプレゼンテーションの準備に費やされます。

最終日には、趣旨に賛同して見学頂ける来場者やマスメディアに対して公開プレゼンテーションを行い、会議参加者のみなさんの公開審査によって優秀作が表彰されます。

●ワークショップテーマ

「金沢観光の魅力を向上させるユニヴァーサルデザイン」

人口約45万の城下町金沢は、戦火を免れた数少ない日本の都市の一つです。まちの随所には江戸明治期からの町並みや庭園、城郭、寺社、市場、伝統産業や固有の生活文化が人々の暮らしとともに息づいています。一方で、金沢21世紀美術館のモダンな空間やアートを、多くの金沢市民が県外海外からの来訪者とともに楽しんでいます。犀川、浅野川によって形づくられた段丘の地形は、趣のある坂道とともに 金沢の景観を緑豊かなものとしています。そして、冬期には雪吊りなど雪の景観が出現します。

金沢の地域には四季を通して600～700万人の観光客が訪れます。観光の魅力向上に貢献するユニヴァーサルデザインを、金沢の現場から発想することは、人と暮らしと伝統文化、歴史、自然との交歓を、地域に住む人々はもとより、観光客など、多様な人々が享受する確かなデザインにつながるでしょう。

金沢の観光にかかわるサービス、情報、製品、移動、空間、広告サインなど、ソフト面ハード面のリアルなデザインを各チームが提案することを目標とします。デザインの方向は、各チームのゲストユーザーの問題を解決するとともに、それを「誰にでも開かれたデザイン」として、形としてまとめあげてください。多くの人々が安心して住まい、訪れ、心から楽しむことができ、そして幾度も訪れたいくなる様な、魅力ある将来の金沢に対する提案を期待します。

●運営体制

■運営事務局 (Secretariat) :

「国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD)」
International Association for Universal Design

■監修 (Supervisor) :

金沢美術工芸大学教授 荒井利春 (あらい としはる)

■運営責任者 (Director) :

「IAUDワークショップ委員会」委員長
牧野克己 (まきの かつみ)

■運営副責任者 (Deputy-Director) :

「IAUDワークショップ委員会」副委員長
藤木 武史 (ふじき たけし)

■現場責任者 (On the spot Responsible Official) :

「IAUDワークショップ委員会」主査
君塚 亮之 (きみづか あきゆき) / 齋木 英志 (さいき ひでし)

■情報保障・会計 (Communication support ・Accountant) :

「IAUDワークショップ委員会」主査
中岸 裕子 (なかぎし ゆうこ)

■機器・機材・会場テクニカル対応 (Machinery & Technical management) :

「IAUDワークショップ委員会」主査
新木 英和 (しんき ひでかず)

■WS運営サポート (WS Operation support) :

「IAUDワークショップ委員会」
矢辺 憲二 (やべ けんじ) / 北村 卓也 (きたむらたくや)
天城 裕之 (あまぎ ひろゆき)

●チーム編成

■全5チームを編成

■1チーム 構成メンバー内訳

- ・チームリーダー.....1名
- ・ユーザー1名.....1名
- ・デザイナー / エンジニア / マーケッター等5名
- ・学生ボランティア.....2名
- ・運営サポーター.....1名

計 10名 / 1チーム

■チームリーダー:

応募した参加者のなかから、各チームのリーダーとなる方をIAUD側から依頼させていただきます。チームリーダーはワークショップに先立ち、組織されたチームメンバーとコミュニケーションを取り、チームビルドを行います。またワークショップ時は、チームメンバーとの協議を通じて活動を円滑にし、時間内にテーマに基づいたソリューションを導きます。

■デザイナー / エンジニア / マーケッター 等:

IAUD会員企業より募集したデザイナー、エンジニア、マーケッター、石川県在住デザイナーなど 合計30名を5つの混成チームに分けます。それぞれのチームには、同一の企業から2名以上参加できないこととします。募集 および チーム編成は運営側で行います。

●チーム編成

■ユーザー：

車いすを使用されているユーザー [2名]、視覚に障がいのあるユーザー [2名]、聴覚に障がいのあるユーザー [1名] を各チームに1名ずつ配属します。ユーザーは高い社会参加意識と共に、各種コミュニケーション手段により自身の考えを伝えることができる方を、荒井先生と金沢市の協力により募ります。具体的には、自身の身体機能特性や道具、設備機器との関係をチームメンバーに説明するとともに、実際の生活現場でどのような問題や事象が発生するのかをチームメンバーと具体的に確認したり、デザインへの助言を行なって頂きます。

■学生ボランティア：

それぞれのチームには、2名の学生ボランティアが付きチームをサポートします。学生ボランティアは、次の役割を担える方とします。

- ① ユーザー介助
- ② デザインワーク補助
- ③ 視覚障がいを持つユーザーへの情景描写（情景を言葉で表現）
- ④ ワークショップ活動の記録（写真、動画、メモなど）

ワークショップ初日にチーム間交流会を実施します。

交流会は各チームの調査内容の情報交換の場とし、フィールドサーベイの結果を中心にまとめ、学生ボランティアから報告して頂きます。

■運営サポーター：

それぞれのチームには、1名の運営サポーターを配置します。

主な役割は、ワークショップ活動を円滑に進めるため、事務局側と連携した運営上の各種サポート活動となります。またチームのワークショップ実施上の問題点や改善点をまとめて報告していただきます。

●スケジュール

9月29日(木)

* 参加者は各自またはチームで金沢市内事前調査

15:30-16:00 金沢美術工芸大学集合 (ユーザー、参加メンバー)

16:00-17:30 事前ミーティング (研究所棟:3F研修室)

9月30日(金)

9:00-10:00 開会式 (美大ホール)

10:00-11:00 チーム会議 (調査エリア、タイムスケジュール等の決定)

11:00-17:00 フィールド調査 (市内他)

17:00-19:00 チーム作業 (調査概要のまとめ)

19:00-20:30 チーム間交流会 (各チーム調査概要発表:3F研修室)

10月1日(土)

9:00-21:00 チーム作業

(研究所棟:2F企画情報室/3F研修室/3F第4教室/4F組成研究室)

10月2日(日)

8:00-10:00 チーム作業 (プレゼンテーション準備)

10:30-10:45 プレゼンテーションデータ提出

10:45-12:15 教室片付け、昼食

12:30-12:45 チーム発表・公開審査 開会式

12:45-14:00 チームプレゼンテーション (美大ホール、各チーム10分)

14:00-15:00 投票・結果発表・表彰・講評 (荒井教授、IAUD代表、他)

15:00-15:15 チーム発表・公開審査 閉会式

15:30-16:30 懇親会

●参加者募集要項

■応募資格： IAUD会員 および 国内外で活躍されているプロのデザイナー、エンジニア、マーケッター、プランナー、研究者、など（国籍不問）

■募集期間： 2011年7月25日(月)～2011年9月16日(金)

■募集人員： 参加デザイナー 計30名（5グループ）
学生ボランティア 計10名（5グループ）
運営サポーター 計 5名（5グループ）

※定員となり次第募集を締め切らせて頂きますので ご了承ください。

※リーダー5名は、締め切り後にIAUD側から依頼させていただきます。

■応募方法： <http://www.iaud.net/> より応募用紙をダウンロードし必要事項を
問合せ先： ご記入し、メール又は FAXにてIAUD事務局へ送付下さい。

不明な点はIAUD事務局までお問い合わせ下さい。

Tel : 045-901-8420 / Fax: 045-901-8417 / Mail: info@iaud.net

■参加費： 50,000円/人（ユーザー、学生、運営サポーターは無料）
（注意：交通費・宿泊費は参加費には含まれませんので、
学生、サポーター含めて参加者の負担となります）

■宿泊施設： 参加者はIAUD事務局が手配するホテルに宿泊して頂きます。
参加申込者に対して、別途ご案内をいたします。

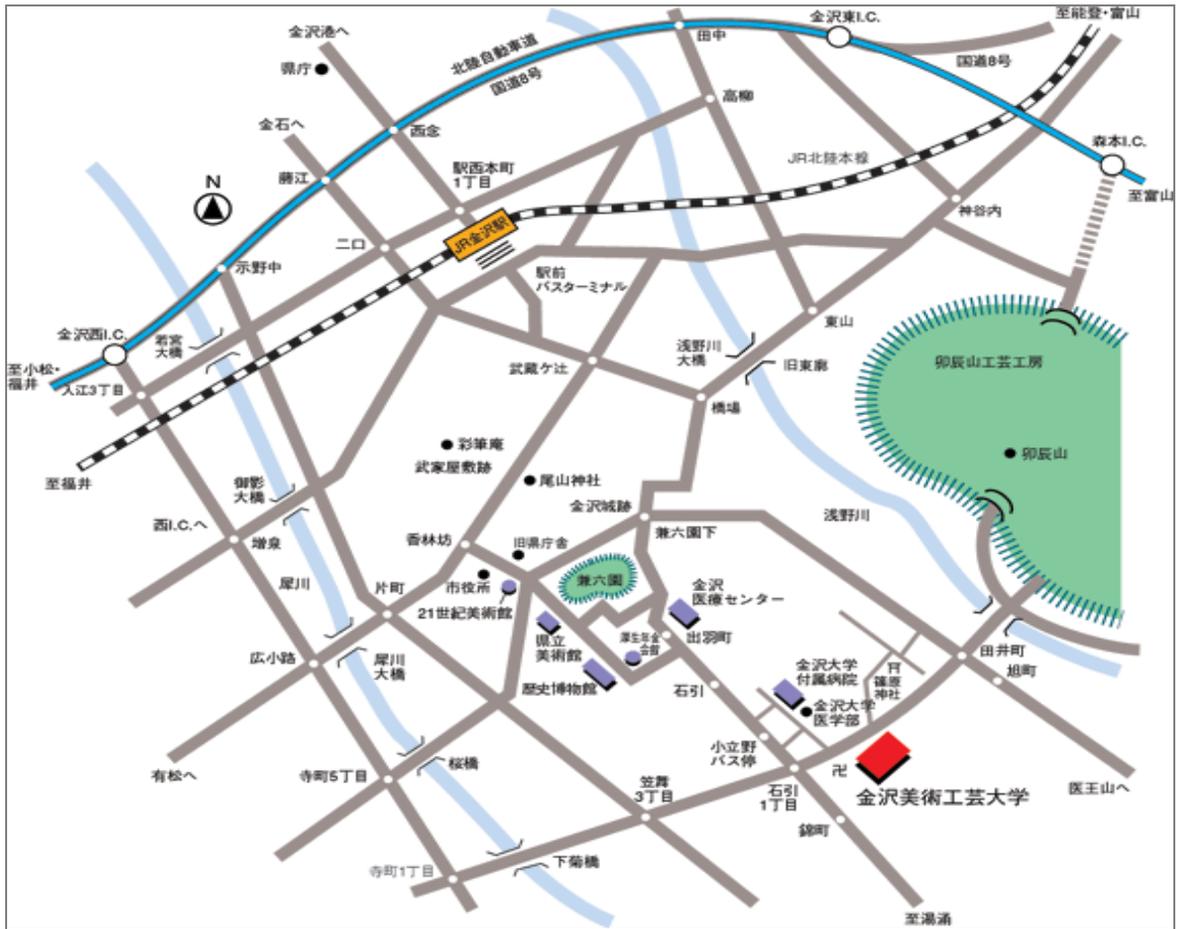
■設 備： カラープリンター、コピー機、活動に必要な一部の画材、用具（模造紙、
付箋紙、マーカー、マスキングテープ、カッティングボード、カッター、定規
など）はIAUDが用意致しますが、以下の備品は、参加者各自でご用意
ください。【ラップトップPC、デジタルカメラ、製図用具、スケッチブックなど】

(注)パワーポイント2007及びMac用パワーポイントの使用は、機器対応上の理由により不可とさせていただきます。

■産業財産権等の取り扱いについて

ワークショップの過程で生じた著作物に係る著作権はIAUDに帰属します。ワークショップの過程で生じた発明、考案または意匠の創作に関する特許、実用新案登録および意匠登録を受ける権利ならびに当該権利に基づき取得する特許権、実用新案権および意匠権はIAUDに譲渡もしくは実施許諾を頂きます。また、デザインマラソンの成果をメディア等へ公開するにあたって、参加者の肖像を使用させて頂くことがあります。合意書に承諾をいただきます。

●会場周辺地図およびアクセス



【大学への交通アクセス】

■ 列車： JR金沢駅下車

バス： 金沢駅東口バスターミナル3番のりば
 11金沢学院大学行、11東部車庫行、11錦町行、
 11金沢東高校行、11小立野大学病院行、
 12北陸大学薬学部行、12北陸大学太陽が丘行、
 12湯涌温泉行、16駒帰行（乗車約25分）

金沢駅東口バスターミナル6番のりば
 13医王山行、14田上住宅行（乗車約25分）

金沢駅西口バスターミナル4番のりば
 10金沢学院大学行、10東部車庫行、
 10金沢東高校行（乗車約25分）

小立野バス停下車（徒歩約8分）

タクシー： JR金沢駅から約20分

